



文化財保存活用大綱・地域計画制度5周年記念シンポジウム

1. 開催趣旨

平成30年度の文化財保護法改正により、都道府県の文化財保存活用大綱と、市町村の文化財保存活用地域計画の制度が創設されました。法改正から5年目を迎える今、成果や課題を話し合い、改めて大綱・地域計画の意義を見直し、大綱・地域計画の制度の可能性を考えます。

<プログラム>

- 14:00～14:05 挨拶
 14:05～14:20 報告 文化庁文化資源活用課 広域文化観光部門
 「文化財保存活用大綱・地域計画の作成等の状況」
 14:20～15:00 基調講演 國學院大學 観光まちづくり学部 西村幸夫
 「文化財保存活用地域計画制度の可能性」
 15:00～16:00 パネルディスカッション
 モデレーター：西村幸夫（國學院大學）
 パネリスト：菊池吉修（静岡県）、木本挙周（牛久市）、真砂祐樹（小豆島町）

2. 日時：2023年10月27日（金）14:00-16:00

3. 場所：みんなの賑わい交流拠点コンパス

小野川ホール（定員150人程度）

〒287-0003 香取市佐原イ134-3

【お問い合わせ先】

事前のお申込が必要です。2023年9月29日（金）までに「氏名（ふりがな）、性別、携帯番号、住所」を下記のメールへご連絡ください。件名は「地域計画認定5周年記念シンポジウム申込」としてください。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。
 文化庁文化資源活用課 計画推進係 赤羽・熊谷 E-mail: shigen-renkei@mext.go.jp TEL: 075-451-4111（内線9667、9669）

【基調講演・モデレーター】

國學院大學 観光まちづくり学部
 観光まちづくり学科 学部長
西村 幸夫



専門は都市計画。歴史的都市の保全を軸としたまちづくり。日本イコモスの委員長を経て顧問に。国際イコモスの元副会長。東京大学教授、副学長等を経て、2020年より國學院大學教授、現在は2022年に開設された観光まちづくり学部長。東京大学名誉教授。近著に『都市から学んだ10のこと』（学芸出版社、2019）、『県都物語』（有斐閣、2018）など。

【パネリスト】

静岡県スポーツ・文化観光部文化局 文化財課
 文化財地域支援班 班長
菊池 吉修



静岡県の文化財大綱策定の主担当。大綱の内容具現化のため、課内に新たに設置された文化財地域支援班にて、県内市町の地域計画作成支援に取組む。

牛久市教育委員会文化芸術課 課長

木本 挙周

日本遺産事業、国指定重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設災害復旧工事、牛久シャトーカミヤでの牛久市初の大規模3Dプロジェクションマッピングイベントなど、牛久市の文化財の保存と活用に取り組む。



小豆島町教育委員会事務局 生涯学習課 主査

真砂 祐樹

町役場（一般行政事務）に入庁後、一貫して文化財保護の業務に従事し、現在に至る。文化財保護のほか、施設整備や住民の文化活動、現代アートを活用した地域活性化業務にも従事し、地域の文化振興に携わる。

